

## 動物用医薬品副作用症例報告 (平成17年12月分)

薬事法第77条4の2に基づく動物用医薬品副作用症例報告を次のとおり掲載する。

医薬品の名称 (製造(輸入)業者名)	副作用発現動物						副作用等発現の概要及び転帰							
	種類	性	年齢等	投与前の健康状態・疾患等	関連医薬品の投与歴等	既往歴	副作用歴	投与量・投与方法	投与年月日	併用薬	副作用発現年月日(投与後時間)	副作用等の種類	講じた処置	転帰
インタードッグ (イヌインターフェロン-γ (組換え型)) 東レ(株) 製造番号：DL01	犬 マルチーズ	雌	5歳	不健康 アトピー性皮膚炎	/	外耳炎	なし	1万単位/kg皮下注射	平成17年12月13日 ～ 12月24日	なし	平成17年12月27日	肝酵素の上昇 投与3日後の12月27日より元気、食欲減退のため血液検査を行ったところGPTが662IU/lだった。	治療 グリチロン服用	治療中 GPT値は12月31日341IU/l 1月10日383IU/l
<p>《企業の意見及び対応》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当獣医師：2005年11月18日のGPTは58IU/lであり、GPT上昇の要因としては3日前まで投与していたインタードッグの関与が疑われたが、投与中止後2週間が経過しても値が下がらないため原因がよく分からない。</li> <li>・企業：インタードッグとの因果関係は不明だが、何らかの要因で肝障害を起こしていると考える。本症例1例だけでは因果関係について判断しかねる。</li> <li>・対応：今後も同様の情報がないか販売会社を通じてウオッチしていく。</li> </ul>														

家畜衛生週報 (No. 2919) より